



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6022 URL https://www.akasaka-diesel.jp
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名) 杉本 昭
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員総務本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL)054(685)6081
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,612	△2.2	6	△96.8	32	△85.9	22	△85.1
2019年3月期第2四半期	4,717	△11.8	196	△12.2	233	△7.8	153	△15.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	15 18	— —
2019年3月期第2四半期	100 76	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,343	8,201	66.4
2019年3月期	12,663	8,230	65.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,201百万円 2019年3月期 8,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	— —	— —	— —	30 00	30 00
2020年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
2020年3月期(予想)	— —	— —	— —	— —	— —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2020年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	3.1	0	—	60	757.1	60	—	39 59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	1,540,000株	2019年3月期	1,540,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	35,288株	2019年3月期	35,207株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	1,504,746株	2019年月期2Q	1,525,516株

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫化などの国際状況と日韓関係の悪化懸念、消費増税による消費減少懸念などの国内状況も重なり景気動向や企業収益の見通しに強気・弱気が交錯する不安定な状況で推移しました。

海運業界は、サウジアラビアへの攻撃や米国のイラン制裁など中東情勢の不透明感が増す中で、中東／極東航路の運賃が急騰していますが、海運会社は船舶の環境規制への対応や船員確保に伴う人件費の上昇もあり、新造船の発注に慎重な状況であります。

造船業界は、新造船建造の低迷が継続し、造船所の手持ち工事量の減少が続く厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社の経営成績は、前年同期に比べ主機関の売上台数は増加しましたが、受注価格が厳しい中で、原材料や購入部品など資材価格の上昇や製造設備の維持に伴う修繕費など製造経費の増加、販売費及び一般管理費では試験研究費の増加など材料費以外の経費も膨らんでおり、当第2四半期会計期間は、売上高4,612百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益32百万円（前年同期比85.9%減）、四半期純利益22百万円（前年同期比85.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は12,343百万円となり、前事業年度末に比べ320百万円減少いたしました。主な要因は、購入品等の支払いや豊田工場屋根に設置した太陽光発電設備等の固定資産の取得による現金及び預金の減少（844百万円）等が、第2四半期までに出荷する予定の製品が第3四半期以降に納期が変更になったことによる棚卸資産の増加（218百万円）や売上債権の増加（266百万円）に比べ多かったことによるものです。

当第2四半期末の負債は4,141百万円となり、前事業年度末に比べ291百万円減少いたしました。主な要因は、取得した固定資産の支払等による未払金及び設備関係支払手形の減少（148百万円）、前受金の減少（60百万円）、借入金の返済による短期借入金及び長期借入金の減少（53百万円）等によるものです。

当第2四半期末の純資産は8,201百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円減少いたしました。主な要因は、剰余金の配当による減少が四半期純利益の計上額より多いことによる利益剰余金の減少（23百万円）等によるものです。

この結果、当第2四半期末における自己資本比率は66.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて838百万円減少し、当第2四半期事業年度末には1,657百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は401百万円（前年同期比182百万円増）となりました。これは主に、売上債権の増加額269百万円、棚卸資産の増加額218百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は338百万円（前年同期比265百万円増）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出343百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は98百万円（前年同期は33百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出45百万円、配当金の支払額44百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に発表いたしました数値から変更はありません。配当予想につきましても、今しばらく業績動向を確認いたしたく未定で変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,723,580	1,879,434
受取手形及び売掛金	2,880,434	3,147,310
製品	-	83,125
仕掛品	2,497,951	2,614,335
原材料及び貯蔵品	416,598	436,033
その他	45,458	22,821
貸倒引当金	△6,419	△6,419
流動資産合計	8,557,603	8,176,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,414,883	1,377,076
その他(純額)	1,284,039	1,388,244
有形固定資産合計	2,698,923	2,765,320
無形固定資産		
無形固定資産	103,393	104,567
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,325,218	1,320,264
貸倒引当金	△21,404	△23,208
投資その他の資産合計	1,303,813	1,297,056
固定資産合計	4,106,129	4,166,944
資産合計	12,663,733	12,343,585

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,424,675	2,437,875
短期借入金	258,589	235,056
未払法人税等	12,211	24,495
賞与引当金	135,300	138,600
製品保証引当金	112,703	110,175
その他	1,031,897	860,448
流動負債合計	3,975,376	3,806,651
固定負債		
社債	100,000	-
長期借入金	192,375	162,337
引当金	33,730	37,869
その他	131,363	134,871
固定負債合計	457,469	335,078
負債合計	4,432,846	4,141,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,686,786	5,663,440
自己株式	△76,187	△76,342
株主資本合計	8,046,945	8,023,443
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	196,886	178,412
繰延ヘッジ損益	△12,944	-
評価・換算差額等合計	183,941	178,412
純資産合計	8,230,886	8,201,855
負債純資産合計	12,663,733	12,343,585

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,717,279	4,612,025
売上原価	3,785,749	3,833,612
売上総利益	931,530	778,412
販売費及び一般管理費	734,704	772,036
営業利益	196,825	6,375
営業外収益		
受取利息	125	146
受取配当金	17,102	17,135
スクラップ売却益	16,071	9,926
その他	19,308	15,220
営業外収益合計	52,607	42,429
営業外費用		
支払利息	2,886	2,981
支払補償費	9,410	8,560
為替差損	-	3,917
その他	3,465	401
営業外費用合計	15,762	15,859
経常利益	233,670	32,945
特別損失		
投資有価証券評価損	22,606	-
特別損失合計	22,606	-
税引前四半期純利益	211,063	32,945
法人税等	57,345	10,107
四半期純利益	153,718	22,838

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	211,063	32,945
減価償却費	136,957	125,019
投資有価証券評価損益(△は益)	22,606	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△500	1,803
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,200	3,300
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△11,517	△2,527
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,432	△691
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△53,865	-
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,480	4,529
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	150	300
受取保険金	△910	-
受取利息及び受取配当金	△17,227	△17,281
支払利息	2,886	2,981
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△25,521	△269,229
たな卸資産の増減額(△は増加)	56,492	△218,944
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,102	3,136
仕入債務の増減額(△は減少)	△348,941	13,200
未払又は未収消費税等の増減額	△47,651	3,497
その他の負債の増減額(△は減少)	△140,064	△94,867
小計	△224,295	△412,828
利息及び配当金の受取額	17,227	17,281
利息の支払額	△2,980	△3,032
保険金の受取額	910	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9,381	△2,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	△218,519	△401,276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△211,000	△211,000
定期預金の払戻による収入	217,000	217,000
固定資産の取得による支出	△65,919	△343,099
投資有価証券の取得による支出	△1,925	△2,650
貸付けによる支出	△7,000	-
貸付金の回収による収入	2,772	2,152
その他	△6,872	△1,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,944	△338,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△8,340
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	△69,824	△45,231
自己株式の純増減額(△は増加)	△51,398	△155
配当金の支払額	△45,626	△44,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,150	△98,152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△258,312	△838,145
現金及び現金同等物の期首残高	2,465,247	2,495,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,206,935	1,657,434

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	4,695,150	△3.0

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	4,451,858	7.3	4,657,332	11.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	4,612,025	△2.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。